

でた!



発掘調査  
すぐらく付

特集  
いにしへの生活を探る

埋蔵文化財の基礎知識

埋蔵文化財とは？

土地に埋蔵されている文化財（建物跡、古墳（お墓）、土器など）。土地に残された昔のひとびとの生活の痕跡（遺跡）のこと。

なぜ発掘調査をするの？

新しく建物や道路が造られます、その地下にある埋蔵文化財は壊れてしまいます。そのため、発掘調査によってどのような遺跡なのかを調査し、記録することで保存します。また、埋蔵文化財は地中にあるという性質上、発掘調査をしてみないとどのような性格の遺跡なのかわかりません。発掘調査によって、過去のひとびとがどのような生活をしてきたのかわかるのです。

用語解説

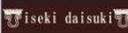
遺構：壁穴住居跡などの土地に残された痕跡（不動産）  
遺物：土器や石器などの道具類（動産）

埋蔵文化財センターは、土地に埋蔵される文化財（埋蔵文化財）を調査する機関です。今回は、そんな埋蔵文化財センターの主な仕事である埋蔵文化財調査特集です！

みなさんもきっと一度は聞いたことがある「発掘調査」。出てきたお宝をハケやクシでちょこちょこ慎重に掘っていく…そんなイメージがもしもありません。もちろん、そんな作業もありますけど、それだけではありません！ガンガン掘ってドンドン掘って！繊細さと大胆さと研究心を兼ねそなえたガテン系なお仕事。それが発掘調査です。

たまに発掘調査の見学会が実施されますので、この冊子で勉強して、遺跡見学に出かけましょう！

NEXT PAGE 遺跡調査の流れ▶



新埋文  
新聞

遺跡速報

◎月◎日◎  
2020年(令和2年)

発行所：山梨県甲府市下宿町923  
〒400-1508 電話 055-266-3016  
山梨県埋蔵文化財センター

史跡課 Kさん古墳復



古墳復は成り立つのか？  
埋文やまなしが学芸員に「復元」とはなにかな、

45冊

陶文土器「型式」とは

土器型式は成り立つのか？  
埋文やまなしが学芸員に「型式」とはなにかな、

18冊

石壇を愛して

14冊

ウちゃん

何？  
ねえ、前方後円墳くん

最近おなかがかゆいんだ  
ちよつと見てよ

どれどれ

わろそり

奈良・平安時代

集落跡 新町前遺跡 市川三郷町

一方、整理作業は…

新町前遺跡の第1次調査が終了して1年が経った。かつて発掘調査区だった場所には、清洲高校の校舎が完成しようとしている。この場所に、古代のひとびとが暮らした集落や中世の水田が広がっていた風景をだれが想像できるだろうか。

さて、この1年埋蔵文化財センターの整理作業では、新町前遺跡の整理作業が人知れず進んでいる。出土した遺物の洗浄や接合・復元作業、記録した測量図面や写真データの整理、報告書の執筆・編集→発行…やらなければならぬ作業は山ほどある。しかし、整理作業において最も重要なのは、発掘調査の成果を地域の歴史に還元していくための「調査・研究」である。

見つけた遺構や遺物を図化して掲載するだけの発掘調査報告書では、学生でもできる仕事だ。私にとって、調査・研究によるプラスアルファが腕のみせどころと言える。(御山)



平安時代末 壁穴住居跡のカマド

馬場平遺跡 甲州市

馬場平遺跡の発掘調査が終わりに、早くも3ヶ月が経過した。ついに、基礎的整理作業が始まり、出土遺物の様相が見えつつある。前ページにある整理作業の流れのうち、作業員にとって過酷な作業が始まった。それは接合・復元作業だ。昔土器の接合は経験があるが、水晶の接合は至難の業だ。「もう付かないよ」と作業員が嘆いていると、石器が専門の職員Sが通りすぎるといんどん土器も石器も付けていくと作業員が呆気に取られている。このような困難な作業を現在進めている。

馬場平遺跡から出土した水晶は、数えたところ557点となった。これらをどう分析したら、馬場平遺跡の特徴を最も引き出せるか考えながら作業を進めている。(岩永)

編集後記

個人的に観たおしれカフェをやろうと企画していますが、去年はトチの突のアク抜きを教えてもらいましたが、失敗しちゃいました。ドングリのアク抜きが成功しました。ウちゃんやツルマタの栽培も収穫もできましたが、材料集めがなかなか大変、あまりたくさんにはなりません。上川から「こんにちやるといっしょにお腹がいっぱいにならないよ」と突かれてしまいました。エーン(悠) (6)

北如南遺跡 笛吹市



「こんなところ遺跡なんか出ちやこんよ」これは、のちに北如南遺跡となる地点において、令和元年5月に実施した試掘調査中、地域の住民の方に言われた一言である。調査の結果、地表下4mに中世の生活面、それ以下に古墳時代の生活面の存在が明らかとなり、11月より本格的な発掘調査が始まった。中世の東油川と言え、武田直虎の叔父、油川信忠が館を構えたという。調査地点はその館伝承地に近く、16世紀前後の遺物も出土していることから、油川氏の勢力基盤とした集落の一端を垣間見ているのかもしれない。「こんなところ」ではない。遺跡は意外と身近に埋まっているのだ。(熊谷)

水が湧くなか、発掘



埋文やまなし 第62号  
発行 山梨県埋蔵文化財センター  
〒400-1508 山梨県甲府市下宿町923  
☎ 055-266-3016  
印刷 株式会社峡南堂印刷所

